

これだけは知っておきたい統計の基礎



統計の基本を学び、業務データを信頼性の視点で読み解く力を身につけます。

日常業務やビジネスの場面で目にする情報やデータを正しく読み解く力を養う、統計入門コースです。記述統計、グラフ、確率、仮説検定などの基本をわかりやすく解説し、「その数字は信頼できるのか？」という視点で判断する力を身につけます。

コースのねらいと特色

- ◆ 記述統計の概要や統計で使用するグラフの知識を身につけること。
- ◆ 推測統計における確率や仮説検定の知識を身につけること。

カリキュラム

- 第1章 統計とは？
- 第2章 記述統計の基礎
- 第3章 統計で扱う可視化
- 第4章 推測統計の基礎:確率
- 第5章 推測統計の基礎:仮説検定

統計とは？

データ・統計・情報の違い

データとは、事実や数値の集まりで、意味の解釈はされていないもの
例：「ある日のガソリン価格は1リットル150円」

統計は、多くのデータを集め、整理・分析し、特徴を把握できるようにしたもの
例：「この1年間のガソリン価格の平均は1リットル160円」

情報は、統計やデータを分析し、意味を解釈して、判断や行動の助けになるもの
例：「ガソリン価格はここ3か月間で上昇傾向にあるので、今のうちに給油するとよい」

ある月のガソリン価格の平均値は、それだけであればただの数字
数字の動きを分析していくと、ガソリン価格がどう変化しているか、
今後の見通しをどう考えたらよいか、といった「情報」が読み解ける



概要

受講対象者	ビジネスパーソン全般
監修	JMAM DX研究会
仕様	想定学習時間:150分 最短実行時間:77分 テスト数:1(全10問、ランダム出題)